

2018年を振り返って 世界遺産推進室長:丸林

“天草の宝”が“世界の宝”に。
6月30日、富津コミセンでの世界遺産委員会の生中継、議長が小槌をトンと打ち世界遺産登録が決定しました。約450人の皆様と共に感動に包まれた、あの瞬間は忘れることはできません。

天草市が平成19年に着手してから11年の間、国内候補争いや推薦書を取り下げて再チャレンジするという、思いもかけない事態が次から次へと起こりました。しかしながら、天草にとっては、崎津集落ガイダンスセンター、崎津資料館みなと屋、観光駐車場、観光トイレなどの来訪者受入れの施設整備の時間ができ、なによりタイトルに「天草」が入るという良い方向での登録となりました。世界遺産登録は、行政だけではなく、地域の皆様の理解とご協力があってこそ成し遂げられたものですので、心から感謝申し上げます。



今回の世界遺産のテーマは、禁教期の潜伏キリシタンの文化的伝統となっていますが、それは、「異文化理解の大切さ」と地域の方々の「寛容さ」であるのではないかと考えています。世界を見れば自国中心、自分中心という危険な方向に向かっているように見えますし、日本でも自己中心が原因の事件や、自分の価値観だけで誹謗中傷することが多くなっているようです。そのような今、異文化理解の大切さと寛容さを示す崎津集落の価値が、世界に認められたことは、大変意味があるものだと感じています。天草市は、世界遺産を持つ自治体として、世界が認めた崎津集落の価値を後世へ継承するとともに、広く情報発信することが責務であると考えています。これからも、地域の皆様といっしょになって取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後とも、よろしくお願い申し上げます。

★崎津教会のイルミネーション★

今年は1月6日（日）まで崎津教会のイルミネーションが楽しめます。

11月17日に植樹されたツリーも輝いていますよ★（→）是非ご覧ください！！



崎津資料館 みなと屋だより

2018年も残りわずか。この1年みなと屋にとっても様々なことがありました。1月の大雪の時には来館者が1人だったことも…。ゴールデンウィーク真っ只中の5月4日、イコモスから「世界遺産登録にふさわしい」旨の勧告が出たことが報じられると、観光客はもとよりマスコミの取材も増加。6月30日バーレーンで開かれていた会議で世界文化遺産登録が正式に決定すると、さらに来館者も増加し、7月以降は昨年と比較して2倍以上の方が来館されており、先月お伝えしたように、10月27日には開館以来の来館者が10万人を突破。12月も13日現在ですでに去年の12月1か月分の来館者を上回っております。



しかしながら、多くの方が『教会が世界遺産』と思っておられるのが現状で『潜伏キリシタンの歴史に世界に類のない価値があり、その歴史を今に残す崎津の集落が世界遺産の構成資産』であることをご理解いただけるよう、これからも努めてまいります。来年もみなと屋をよろしく願います。

崎津集落ガイダンスセンター便り

本年は7月に、「天草の崎津集落」を含む12の構成資産が世界文化遺産に登録され、これまで以上に世間の注目・関心度が飛躍的に伸びた年でもありました。

登録後は、月に2万人前後の観光客が全国から来訪され、大変賑わいを見せている反面、集落散策ルールや崎津教会拝観マナーの徹底が不十分のため、地域住民の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしました。今後も、なお一層の周知徹底を図り、崎津集落の住民の方々の方々の生活の安心・安全に努めていきたいと思っております。

また、12月には道の駅『崎津』が開駅し、さらなる地域の魅力を発信していきたいと思っておりますので、地域住民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



【平成30年度「ふるさと体験事業」が実施されています。】



天草市内の小学生と中学生が崎津集落を訪れ、世界文化遺産としての歴史的価値などを学んでいます。既に来訪した学校においては、非常に勉強になったなどの声を聞いています。このような事業を通して、若い世代が崎津集落のことを学び、それをいろんな人たちに伝えていってくれるよう期待しております。 ※写真は12月19日の五和小学校の様子

【次回の河浦中学校観光ボランティアガイドの日程】

日時：平成31年1月20日（日） 14時30分から15時20分

場所：きんつ市場スタート・ゴール

（天草ぐるっと周遊バス（Bコース）の崎津集落散策にて）

